

科目	学年・小学科	単位数
音楽 I	3年・選択	2
教科書	教育出版 高校音楽 I 改訂版「Music view」	
副教材		

## 1. 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情や態度を育む。

## 2. 学習方法

授業を大事に展開し自ら学ぶ態度と方法を身につけることを目指す。  
声による多様な表現があることを知り、歌唱表現の面白さを体験する。  
日本の伝統音楽や世界の音楽の形成過程を歴史や地域からたどる。

## 3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
②	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。
③	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。
④	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わっている。
⑤		

科目	学年・小学科	単位数
音楽 I	3年・選択	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	歌唱	正しい歌い方で歌おう ○世界に一つだけの花 ○少年時代 ○ふるさと	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の構成や強弱など、音楽を形作る要素を近く、感受し関心を持ち主体的に取り組んでいる</li> <li>・様々な音楽に触れ、その良さや美しさを味わっている。</li> <li>・正しい発声を出すための技能を身につけている。</li> </ul>	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ワークシート
	鑑賞	印象主義と音楽 ◎月の光(ドビュッシー) ◎ピアノソナタ第一14番(ベートーベン)	○	○		○			
前期末	歌唱・鑑賞	世界の音楽 ◎ジェットンデデン ◎風になりたい ◎ケチャ	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を合わせる活動に関心を持ち、それらの演奏効果を生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・曲種に応じた発声と表現上の効果に関心を持ち主体的に取り組んでいる</li> <li>・各言語の発音で歌えているか</li> </ul>	
		多様な声の魅力 ◆イタリア語入門 ○カロミオベン ◆ドイツ語入門 ○野ばら	○	○	○				
後期中間	歌唱・鑑賞	西洋音楽の世界 ◎ 歌曲「ます」 ◎○ 野ばら(シューベルト・ヴェルナー) ◆ 西洋音楽史概説	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うか表現意図を持っている</li> <li>・楽曲の歴史的背景や楽曲の文化的、作曲者による表現の特徴を理解して音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</li> </ul>	
		声と声とを合わせて ○ 歌唱教材(クラス毎) ◆ 合唱の発声	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が選択した楽曲について、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現や創造的に表している。</li> </ul>
後期末	器楽	ギターを弾いてみよう □茶色の小瓶 □各ギター教材	○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏効果を生かし、表現したい音楽のイメージに合わせて演奏できているか</li> <li>・アポヤンド、アルアイレ等の奏法を生かし演奏しているか</li> <li>・ギター演奏に興味をもってとりくんでいるか</li> </ul>	
	創作	楽典と創作 ◆ 音楽を形づくっている要素の例 ◆ 音楽の要素やしぐみを使って音楽を作ろう ◆ 楽典	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・音階や旋律、リズム、速度、旋律、構成の働きの変化に関心を持ちイメージを持って変奏や編曲をする学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>